

きっぷの払いもどし

- ▼ きっぷの払いもどしは、駅、主な旅行会社の窓口でお取り扱いしますが、団体乗車券、一部のおトクなきっぷは、お求めになった窓口にお申し出ください。

* 駅の払いもどし箇所は、駅係員におたずねください。

使用開始前で有効期間内のきっぷ

- ▼ 変更が2回目となる場合は、駅、主な旅行会社で払いもどしのうえ、ご希望のきっぷを買いなおしてください。

きっぷの種類		払いもどし条件	手数料
普通乗車券 急行券 自由席特急券 特定特急券 自由席グリーン券		使用開始前で有効期間内 (前売りの乗車券については 有効期間の開始日前を含む)	220円
指定券	立席特急券	出発時刻まで	220円
	指定席特急券 指定席グリーン券	列車出発日の2日前まで	340円
	寝台券 指定席券	出発日の前日から出発時刻まで	30% ただし、最低340円
おトクなきっぷ		商品ごとに異なりますので、係員におたずねください。	

- ▼ 列車の出発日またはその前日にいったん変更した指定券（立席特急券を除く）を払いもどすときには手数料30%をいただきます。
- ▼ 〔北斗〕〔すずらん〕〔おおぞら〕〔とがち〕〔踊り子〕〔湘南〕〔あずさ〕〔かいじ〕〔富士回遊〕〔はちおうじ〕〔おうめ〕〔あかぎ〕〔ひたち〕〔ときわ〕〔成田エクスプレス〕〔しおさい〕〔わかしお〕〔さざなみ〕の座席未指定券は、上表によらず使用開始前で券面表示の乗車日まで手数料340円です。
- ▼ 特急券とグリーン券、特急券と寝台券、急行券と指定席券などを1枚で発行した指定券の払いもどし手数料は、グリーン券、寝台券、指定席券の分のみいただきます。
- ▼ 東北新幹線（東京～福島間）と〔つばさ〕（福島～新庄間）、東北新幹線（東京～盛岡間）と〔こまち〕（盛岡～秋田間）を直通して乗車する場合（いずれも改札口を出ないで、当日中に乗り継いで乗車する場合を含みます）であって、1枚で発行した特急券を払いもどすときは、新幹線の特急券と在来線の特急券を合わせて1枚のものとして手数料を計算します。
- ▼ クレジットカードを使用してお求めになったきっぷは、お求めになった会社によりお取扱いが異なりますので、係員におたずねください。

使用開始後のきっぷ

■ 普通乗車券

- ▼ 普通乗車券は、有効期間内でお乗りにならない区間の営業キロが1券片100キロを超える場合のみ払いもどしいたします。この場合の払いもどし額は、発売額からすでにお乗りになった区間の普通運賃と手数料220円を差し引いた残額です。

■ 定期券（JR北海道内の場合）

- ▼ 定期券が不要となった場合で、有効期間の開始日の前日までの払いもどし額は、発売額から手数料220円を差し引いた残額です。

$$\text{払戻額} = \text{定期券発売額} - \text{手数料220円}$$

- ▼ 有効期間の開始日以降で定期券が不要となった場合は、以下の計算例のとおり、発売額からすでに経過した日数分の往復普通運賃と手数料220円を差し引いた残額を払いもどしいたします。ただし、払いもどし額がない場合もあります。

$$\text{払戻額} = \text{定期券発売額} - (\text{経過した日数} \times \text{往復普通運賃}) - \text{手数料220円}$$

(例1) 4月1日から有効な札幌～手稲間の通勤定期券（1ヶ月）を、4月5日に払いもどす場合
定期券発売額（10,980円） - （経過日数5日 × 往復普通運賃680円） - 手数料220円 = 払戻額 7,360円

(例2) 4月1日から有効な札幌～手稲間の通勤定期券（3ヶ月）を、4月28日に払いもどす場合
経過日数（28日） × 往復普通運賃（680円） = 19,040円となり、1ヶ月分の定期運賃より高額になるため
定期券発売額（31,270円） - 1ヶ月分の定期運賃（10,980円） - 手数料220円 = 払戻額 20,070円となります。

* JR北海道以外の区間を含む定期券の場合は取扱いが異なります。係員におたずねください。

■ その他のきっぷ

- ▼ おトクなきっぷなどについては、商品によってお取扱いが異なりますので、係員におたずねください（使用開始後の払いもどしができない商品があります）。